

みどり森インタープリターの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のインターパリターによる四方山話のコーナー。
みどり森で起こった出来事や面白いこと、ピックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

嫌われ者のあいつの香りは…？

今号の担当：佐野 愛海（すーちゃん）

みなさんはどんな香りが好きですか？私は犬の足裏の香りが好きです。（ポップコーンみたいな香ばしい香り。）今は亡き、愛犬の肉球の香り…いつまでも覚えています。香りってずっと記憶に残る不思議なものですよね。特に自分のフェチズムと100%合致した時の香りを見つけた時の快感といったら…！（その代わり嫌な香りに会った時はショックなんですが…。）

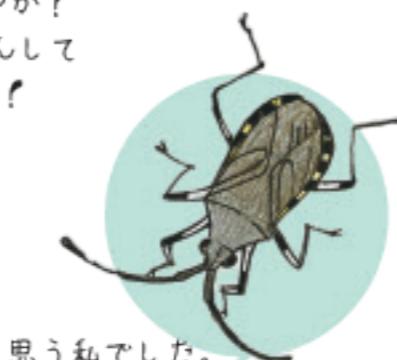
みどり森でも自分の好きな香りと出会うため、気になるものを見かけると、とりあえず匂いを確かめています。その中でもクリーンヒットしたのがなんとあの嫌われがちなカムムシ！

ある日、西久保湿地の田んぼを巡回中に、湿地の端っこにある樹木「マユミ」を見るとカムムシの幼虫が…。しかもそのカムムシ、よく見てみると黄色と黒がとっても鮮やか！こんなカムムシは一体どんな匂いがするのか…気になって指でつんつんして嗅いでみると…なななななんと、青りんごの香りがするではないですか！

（もっと細かく言うとチューイングガムの青りんごフレーバー）

調べてみると「キバラヘリカムムシ」というカムムシでした。世の中にはいい匂いのするカムムシがいることは聞いていたけれどこの子がそうなのか…！と実際に嗅げたことが嬉しかったです♪

こんな出会いがあるから色々な匂いを嗅ぐのがやめられないなあ～と思う私でした。



キバラヘリカムムシ

※刺すこともあるので注意してね。

さいたま緑の森博物館 利用案内



狹山丘陵の北西部に位置する、里山の自然そのものを展示とした野外博物館です。

HP <https://saitama-midorinomori.jp/>
※ QRコードから開けます

開館時間
9:00~17:00

休館日
月曜日(祝日の場合は開館し翌日が休館)
祝日の翌日、年末年始

所在地
埼玉県入間市宮寺889-1

電話・FAX
04-2934-4396

アクセス
公共交通機関をご利用の場合、
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行き
または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「萩原バス停」下車、徒歩約10分
※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。



緑の森博物館の 利用ルール

緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- ❶ 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- ❷ 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- ❸ 原則として広場や觀察路以外の場所に入らないでください。
- ❹ 犬などのペットを放さないでください。
(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- ❺ 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- ❻ バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ❼ ゴミは持ち帰りましょう。
- ❽ ラジコンやドローンは使わないでください。

今年も夏がやってまいりました！去年は酷暑でしたが今年はほどほど暑さだと嬉しいな…と思うばかりです。（暑すぎると生きものあまり見られなくなってしまうため…。）

さて、そんな暑い夏を気持ちだけでも涼しくしたい！ということで今号の特集面は「暑さも忘れるみどり森のソロっと話」です。

みどり森ならではの、ソッとする、焦った…！そんなひや～っとするお話しをお届けしますので是非ご覧ください。



ヒヤッとした話をよく聞くNO.1
オオスズメバチ

イベント情報 (7~10月)

電話 (04-2934-4396) で博物館までご連絡ください。
また、当館ホームページからもお申込みできます。

イベント名	実施日	対象、定員等	概要	申込期間
親子はじめての 自然観察会 「はじめての昆虫標本作り！」	8/3(土) 9:00~12:00	対象：小学生と保護者 定員：15名（抽選） 参加費：1,000円（1セット） (保険・材料代)	捕まえた昆虫をどのように標本にするのか。標本作りの基礎を親子で学びます。当日は、事前に用意した虫を使い標本作りを体験し、その日捕まえた虫は持ち帰り各自で作成してもらいます。	7/31(水) ~7/17(水)
里山体験教室 「ため池の かいばりをしよう」	9/7 (土) 10:00~12:30	対象：小学生以上 (小学生は保護者と参加) 定員：20名（抽選） 参加費：100円（保険代）	里山の管理作業のかいばりを体験します。作業前の、水辺の生き物すくいと観察もあわせて行います。	8/7(水) ~8/20(火)
大人の自然観察会 「秋の花」	10/6 (日) 9:30~12:00	対象：中学生以上 定員：20名（先着順） 参加費：100円（保険代）	秋に咲く野草の花のつくりや受粉の仕組みなどを、ルーペでじっくり観察します。	9/13 (金) ~
里山体験教室 「下草刈りとピザづくり」	10/12 (土) 10:00~14:00	対象：小学生以上 (小学生は保護者と参加) 定員：20名（抽選） 参加費：500円 (保険代・材料代)	里木林の管理作業のひとつ、下草刈りを体験。アズマネザサなどの草木を刈ります。作業の後は、ご美美のピザ窯でのピザ作りを行います。	9/12 (木) ~9/25 (水)
みどり森 ガイドウォーク	7/13 (日) 9/8 (日) 10/5 (土) 11:00~12:00	対象：どなたでも 定員：15名（先着） 参加費：無料	案内所の周辺で、旬の自然を楽しみながら、のんびり歩くプログラムです。内容は決まり次第HPや窓口にてお知らせします。	当日受付 直接窓口まで (10:00~受付開始)



昆虫たちが元気な季節になりました！中には気を付けないとけない生きものもいます。長袖・長ズボンで対策をして散策に来てくださいね。

暑さも忘れる？

みどり森のソソツと話

昔から、暑い夏には怪談話を聞いてぶるぶるガタガタと涼むのが
なりじ（お決まり）ですね。ならばお化け話ではないけれど、
みどり森の出来事で少しでも涼を感じてもうえないかということで、
スタッフから集めたヒヤツ・ゾゾツとした体験談を紹介します。
あなたはどのお話でゾゾツとするでしょうか？

「これなあに？」

まちや談

小学校低学年のことたちを案内していた時のこと。なんでも知りたがる元気な子どもたち。「これなあに？」と見せに来ててくれる。そんな具合で目の前に差し出された手のひらを見てヒヤツとした。それは刺されると電気が走るように痛いというイラガの幼虫ではないか！ イラガには申し訳ないが（トゲが皮ふにあたらないよう）爪先で思いつきり弾き飛ばし、事なきを得た。（しかし、こどもには変な顔をされてしまった。）



毒はないと分かつていてモ…

あつき一談

風がさわやかなある時、首のあたりがもぞもぞするなど手でぬぐうと…うわあ毛虫!! 正体はキアシドクガの幼虫。ドクガといつても無毒です。普段からお客様には、「毒の無い毛虫だから大丈夫ですよ。」と説明しているのに、いざ自分にくついたら、やっぱりゾクッとしてしまった。

この年はキアシドクガが大量発生。幼虫はエサの葉っぱや蛹になる場所を求めてあちこちで右往左往。ある時は天日干し中のテントにたくさん登ってきて大変なことに。あの光景は衝撃的だったな。



虫が苦手じゃないスタッフでもゾクッとしたやうなんだね。こんな光景には誰だってトラウマになっちゃうかも。

暗闇の森に響く

マイマイ&ゆうき談

※ 春の親子キャンプ（イベント）中の出来事。夜テントの中で寝ていると、パキ……ミシ……、パキ、パキバキバキッ！ と木が折れる轟音！ それにテントから顔を出して音のするほうを見るもまっ暗闇。もちろんテント場のまわりの枯れ木のチェックはしてはいたものの、もし近くで大木が倒れたら……と恐怖を感じておちおち眠れないスタッフなのだつた。

※当館主催のイベントで特別にテントを張っています。通常キャンプはできません。

ナラ枯れが広がる狭山丘陵では、いつ倒木や落枝があつてもおかしくないからね。頭上のミシ・バキ音（折れる前兆音）には



トイレのホラー体験

きんちゃん談

案内所のトイレ個室に入った時のこと。トイレットペーパーをひっぱったとたん、蓋とペーパーの間から黒くて細い指がニユツと出てきた！ ひいくなんだこりゃ〜。ドキドキしながらそつと蓋を持ち上げると、大きなクモがペーパーの陰にあわてて隠れていったのだった。そう言えば、さつきトイレに行ってきた小さな子が、おびえ顔で別のスタッフに言つてたつけ。「トイレにものすごくおつきいクモがいて、すごく怖かった。」って。

クモの種類はコアシダカグモ。その後は現れていない。たぶん……。

ペーパーの上で丸太乗りしているクモの気持ちを想像してみて。必死だったうね。

いかがでしたか？ みなさんもみどり森で体験したヒヤツ・ゾゾツとしたエピソードがありましたら、ぜひお寄せくださいね。

絶叫のわけ

ゆうき談

ある日曜の朝、案内所の裏手から突然、「ギヤー——!!」と女性の大きな叫び声。しかも何度も！ 何か事件かドキドキしながらかけつけると、母子三人の立ち尽くす姿が。悲鳴を上げているのはお母さん。その足元にいたのは……カブトムシの幼虫だった。聞けば、地面に転がっていた特大幼虫に、虫が大の苦手なお母さんがビックリして大絶叫していたのだった。



その子はどうやって幼虫を手にのせられたのだろ？ 謎だね。



落ちてきたのは…

マイマイ談

春の突風に、樹上からパサツと何かが落ちてきた。何かと見てみると、なんと干からびたヒキガエル!! ちょうどその頃はヒキガエルの産卵期。カラスに運ばれ、木の上で食べられたのだろう。さらにゾツとすることに、カエルのお腹側には穴があいていた……。



カラスがカエルを樹上で食べて、そのまま干物になってしまことがあるんだ。思わずものが降つてきたら、ゾツくツだね。